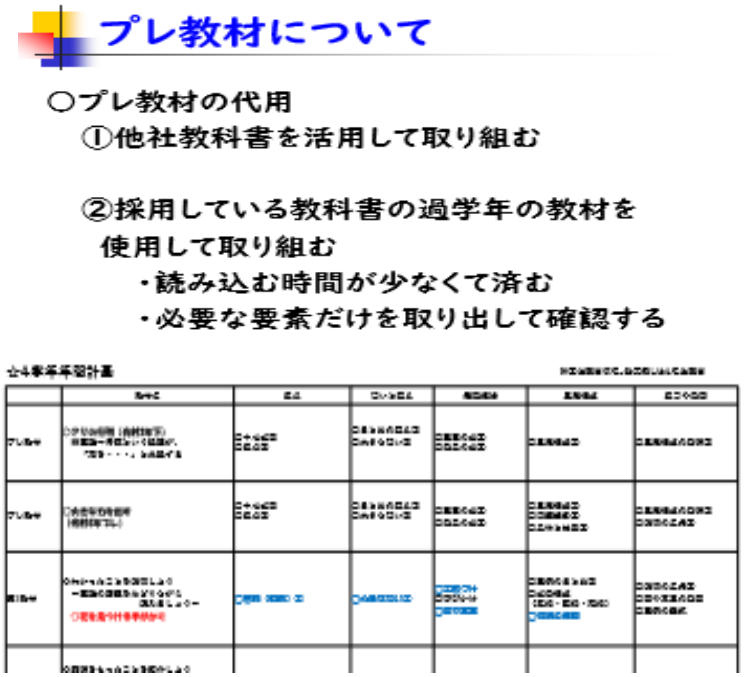
◎第23回定例会(2021)◎

４月２４日（土)、日本授業ＵＤ学会沖縄支部の第２３回定例会が開催されました。新年度の忙しい時期にも関わらず、全国津々浦々から多くの先生方が参加しました。

今回は、川上 康則先生（東京都矢口特別支援学校主任教諭・日本授業 UD 学会理事）に、特別支援教育の視点から「困った子を輝く子にする児童理解」、小島 哲夫先生（琉球大学附属小学校教頭・日本授業 UD 学会沖縄支部長）に、国語教育の視点から「プレ教材を活用した国語授業年間指導計画」について話をしていただきました。



○小島　哲夫先生○

講話:「プレ教材を活用した国語授業年間指導計画」

教科書の冒頭に出てくることが多く、わずか２ページしかない説明文のプレ教材。なぜこのプレ教材があるのか、その理由・効果について、実践方法も踏まえて、小島先生は話していました。

さらに、プレ教材を用いる際は、年間計画と関連付け、学習用語を系統的に指導することが大事だとし、連続性のある学習することが必要だとしていました。

先行研究や実際に計画・実施した年間計画の紹介もあり、実践にあたり参考となる内容でした。

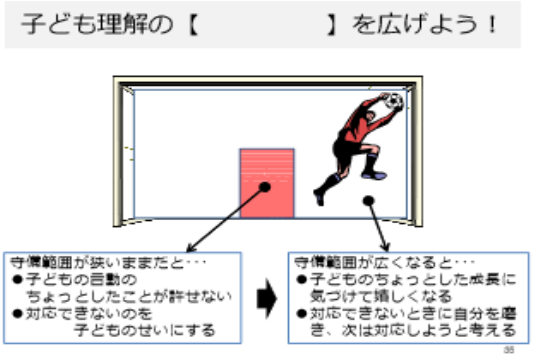
○川上　康則先生○

講話:「困った子を輝く子にする児童理解」

学級開きも終わり、子どもたちの緊張も取れ、しだいに子ども本来の姿が表れ始めてくる時期。中には、一筋縄の指導ではなかなか上手くいかず、手を焼く子もクラスに出てくるはずです。

川上先生は、そのような教師の想定している子どもの姿から「外れる・はみだす」子どもが表れた時には、0 か 100 かの二択で指導するのではなく、0 と 100 の間で成長を見届けることが大事とし、４つのポイントについて紹介していました。

さらに、「感覚」「ボディイメージと空間認知」「自己刺激行動」などの専門知識を踏まえながら、子どもを輝かせる教師でいるための３つのポイントについても紹介していました。

困った子とされている子どもたちの実態について学ぶとともに、明日からの実践に意欲と勇気が持てる内容で、あっと言う間の 70 分間でした。

川上康則（2020）子どもたちを輝かせる秘訣．wutan vol.47 2020年度3学期号，NPO法人全国初等教育研究会